

# レイチルのインド活動先



**ダラムサラ** (インド、ヒマチャル・プラデーシュ州)  
現在の全世界のチベット難民社会の中心。中央チベット政権 (CTA) やダライ・ラマ14世の公邸がある。首都デリーからは、バスで約12時間の、標高1900メートルの高所に位置し、ヒマラヤ山脈の西端にあたる。英国統治時代の駐留イギリス人の避暑地であった場所。チベット人居住区はマクロードガンジと呼ばれる山上の人口約2万人の小さな街だが、世界中から観光客が訪れる観光地として有名。チベットプロジェクトの活動中心地となる。



ラサ (中国チベット自治区ラサ市) 7世紀に成立したチベット王国の首都。チベットの政治・経済・文化の中心であった場所。現在の中国の1/3に近い国土を有したが、1959年のチベット動乱 (ダライ・ラマ7世) 以降、中国に編入される。



## デリー (インドの首都)

2022年に中国を抜き世界一の人口となるインドの中心。22の指定言語をもち、仏教・ヒンドゥー教などの宗教の聖地、36の世界遺産を有する多言語・多民族・多宗教のカオスである。日本人にはバックパッカーの聖地として、ヨガの修行先として有名。約1億人がスラムに住み、スラムプロジェクトの活動中心地となる。